

2018年8月

2018年夏季「物価と消費に関するアンケート調査」結果
「暮らし向き」良化するも、「世帯収入」は2期連続で悪化
 今夏のレジャー、目的は近畿(日帰り)・関東(宿泊)とも1位「テーマパーク」

㈱滋賀銀行のシンクタンクである ㈱しがぎん経済文化センター（大津市、取締役社長 中川 浩）は、滋賀銀行の店頭にご来店の女性を対象に「2018年夏季・物価と消費に関するアンケート調査」を行い、その結果をまとめた。

また、特別項目として「夏のレジャーについて」の調査を行った。

【調査の概要】

- ・調査名：「2018年夏季・物価と消費に関するアンケート調査」
- ・調査時期：2018年6月15日・18日・19日の3日間
- ・調査対象：滋賀銀行の本支店にご来店の女性（県内在住者のみ）
- ・有効回答数：642人 { うち29歳以下：113人、30代：103人、40代：152人
50代：146人、60歳以上：128人 }

【調査結果の要旨】

1. 定例項目

- (1) **【暮らし向きDI】…1年ぶりに良化。半年後は悪化の見通し**
 - ・現在の「暮らし向きDI」は-5.4で、前回（17年12月：-7.9）から+2.5ポイントと2期（1年）ぶりに良化。
 - ・半年後（18年12月）は-13.4で、現状から-8.0ポイントと悪化する見通し。
- (2) **【世帯収入DI】…2期連続で悪化。半年後も悪化の見通し**
 - ・現在の「世帯収入DI」は-6.7と前回（-1.6）から-5.1ポイントと2期（1年）連続で悪化。
 - ・半年後は-16.7で、現状から-10.0ポイントと大きく悪化する見通し。
- (3) **【物価DI】…やや低下し、3期連続で+70を下回る**
 - ・現在の「物価DI」は+64.7で、前回（+69.7）から5.0ポイント低下し、3期連続で+70を下回った。
 - ・半年後は+69.1で、現状から+4.4ポイントとやや上昇するものの+70を下回る見通し。
- (4) **【耐久消費財の買い時】…“(やや)良くなる”2年半ぶりに1割を超える**
 - ・「良くなる」「やや良くなる」の合計は10.1%で、前回（8.6%）から+1.5ポイントと、5期（2年半）ぶりに1割を超えた。「悪くなる」「やや悪くなる」の合計は24.2%で、前回（28.0%）から3.8ポイント減少。2009年6月の本調査開始以来、最も少ない割合となった。
 - ・「変わらない」は65.7%で、前回（63.4%）から2.3ポイント増加し、調査開始以来最も多くなった。
- (5) **【世帯の消費行動】…増やしたい「預貯金、投資」6割で根強く、減らしたい「水道・光熱費」が大幅増加**
 - ・今後半年間で支出を「増やしたいもの」は、「預貯金、投資」（64.1%）が最も高く、次いで「旅行、レジャー」（36.6%）、「子どもや孫の教育費」（29.3%）、「趣味、教養、自己啓発費（習い事など）」（28.3%）、「人とのつき合い、交際費」（21.2%）と続いた。この5項目は“減らしたい”よりも“増やしたい”とする割合が高くなった。
 - ・「減らしたいもの」は、「水道・光熱費」（62.4%）が最も多く、前回（51.9%）から+10.5ポイントと大きく増加。16年6月調査で本設問を設定して以来、初めて6割を超えた。次いで「外食」（56.1%）、「食料品（日々の食費）」（53.0%）が5割を超え、「通信費」（49.0%）、「衣類、ファッション」（43.9%）で4割を超えた。
 - ・推移をみると、「増やしたいもの」では「預貯金、投資」が一貫して6割を超えて高く、「減らしたいもの」は上位5項目すべてで前回より増加した。

（次ページにつづく）

2. 特別項目：夏のレジャーについて

- (1) 4割が「夏のレジャーの予定はない」も、約3割が「日帰り」「国内宿泊旅行」、若い世代ほど意欲高い。
- ・回答者の世帯について今夏のレジャーはどのように過ごすかたずねたところ、「夏のレジャーの予定はない」(41.4%)が最も多く4割を占めた。次いで「日帰りのおでかけ、レジャー」(32.0%)、「国内の宿泊旅行(帰省除く)」(27.8%)。
 - ・回答者の年代別では、「29歳以下」は「日帰り」「国内宿泊旅行」(ともに37.0%)が高く、「30代」は「国内宿泊旅行」(38.8%)が飛び抜けて高い。年代が上がるごとに「予定はない」の割合が増加しており、若い世代ほどレジャーへの意欲は高い。
- (2) 「日帰り」行き先は「近畿」6割。「国内の宿泊旅行」行き先は「関東」「近畿」が2割。目的は「テーマパーク」「観光地、名所」。
- ・「日帰りのおでかけ、レジャー」の行き先は、1位が「近畿(滋賀県内除く)」(60.6%)で6割を占め、次いで「滋賀県内」(31.0%)、「中部(静岡・愛知・岐阜・三重)」(15.5%)となった。レジャーの目的を行き先別でみると、「近畿(滋賀県内除く)」は「テーマパーク」(27.6%)が最も高く、次いで「観光地、名所」(26.4%)、「野外イベント、祭り、花火」(25.3%)となった。
 - ・「国内の宿泊旅行」の行き先は、1位が「関東」(23.9%)、次いで「近畿(滋賀県内除く)」(21.6%)、「甲信越・北陸」(17.9%)となった。レジャーの目的を行き先別でみると、「関東」は「テーマパーク」(64.5%)が最も高く、次いで「観光地、名所」(38.7%)となった。
- (3) レジャーの平均予算は「日帰り」13,717円、「国内の宿泊旅行」49,185円
- ・夏のレジャーにかかる1人当たり予算額の平均は「日帰りのレジャー、おでかけ」が13,717円、「国内の宿泊旅行」が49,185円となった。
- (4) 行き先決定のための情報媒体は「ネットの旅行サイト」「行き先・訪問先のホームページ」。29歳以下はSNS中心。
- ・夏のレジャーの行き先を決定する際に参考にした情報媒体をたずねたところ、全体では「ネットの旅行サイト(じゃらん、エクスペディア等)」(45.3%)が最も高く、次いで「行き先・訪問先のホームページ」(34.5%)、「旅行会社、旅行代理店」(24.7%)となった。
 - ・年代別でみると、「29歳以下」は「SNS」(45.3%)の利用が他世代に比べて圧倒的に高く、「ネットの旅行サイト」(53.1%)とともに情報収集はネット中心が鮮明となった。

以上

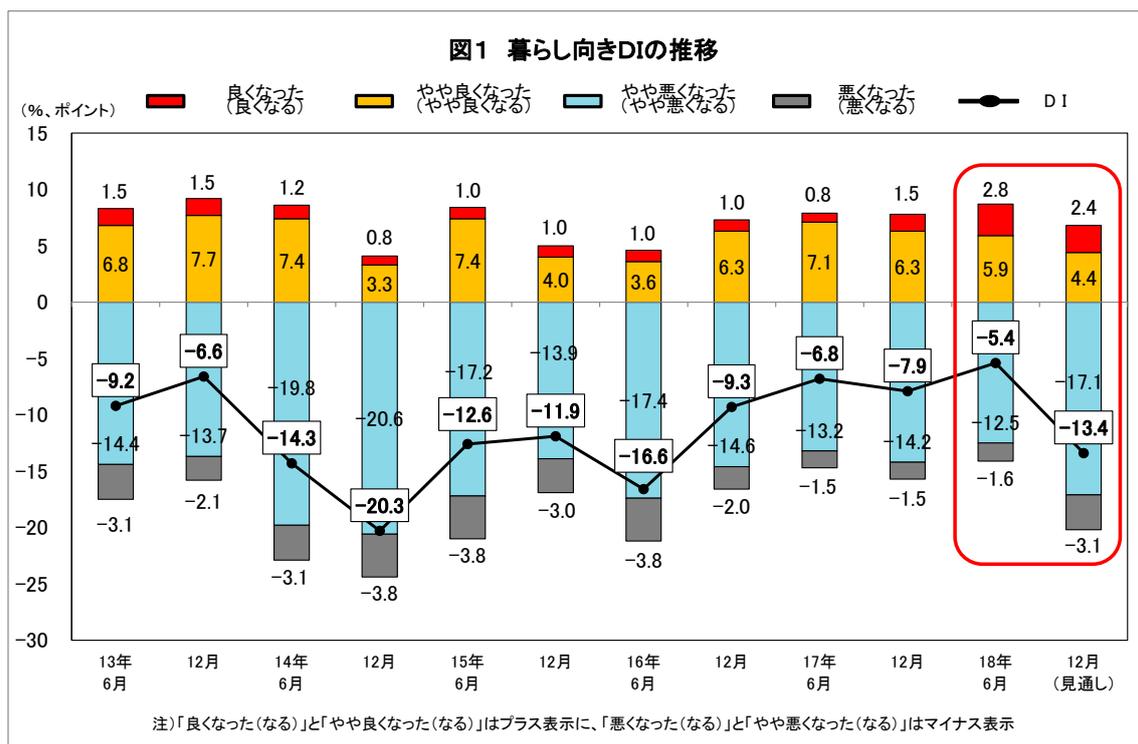
1. 定例項目

(1) 【暮らし向きDI】…1年ぶりに良化。半年後は悪化の見通し

現在（2018年6月）の「暮らし向きDI」（「良くなった」「やや良くなった」と回答した割合から「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した割合を引いた値）は-5.4となり、前回（17年12月：-7.9）から2.5ポイント増加と、2期（1年）ぶりに良化した。

半年後（18年12月）については、「やや悪くなる」が増加し、現在から8.0ポイント低下の-13.4と悪化する見通しである。

しかし、半年後の見通しはかなり厳しく判断される傾向にあるため（17年6月時点での半年後の見通し[-14.3]に対し17年12月の結果[-7.9]、17年12月時点での半年後の見通し[-18.0]に対し18年6月の結果[-5.4]）、現時点での見通しほど悪化しない可能性が高い。

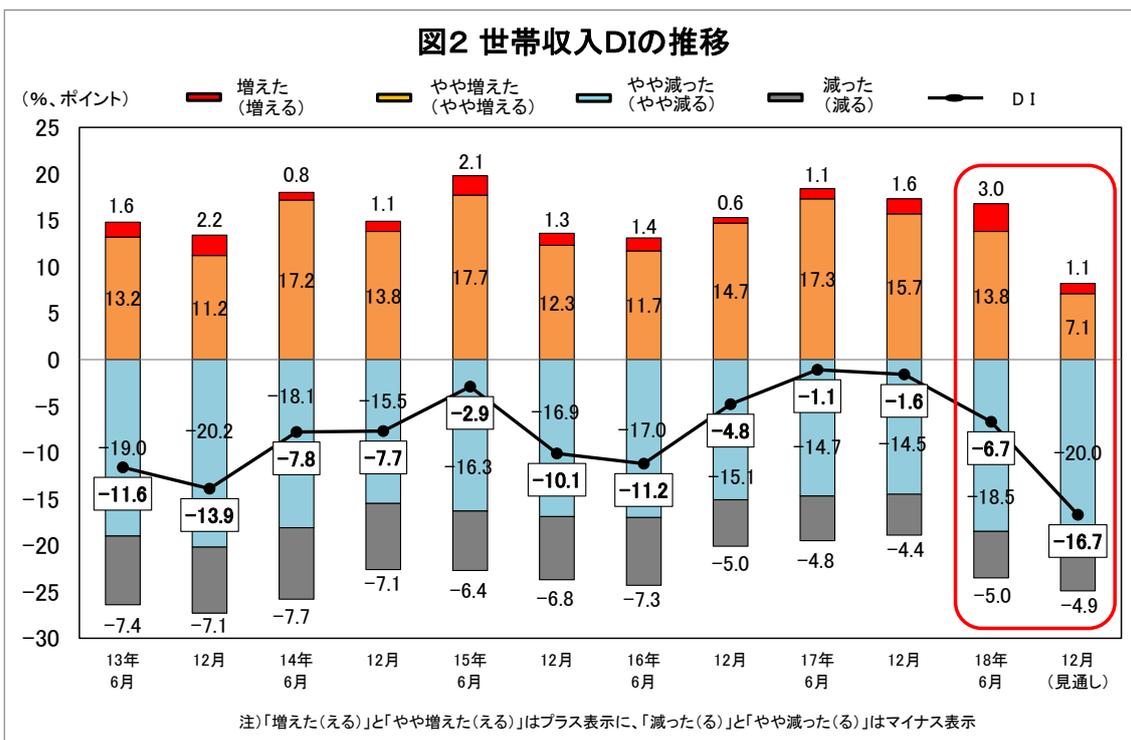


(2) 【世帯収入DI】…2期連続で悪化。半年後も悪化の見通し

現在の「世帯収入DI」（「増えた」「やや増えた」と回答した割合から「減った」「やや減った」と回答した割合を引いた値）は-6.7で、前回（17年12月：-1.6）から-5.1ポイントと2期（1年）連続で悪化した。

半年後は-16.7で、現状から-10.0ポイントと大きく悪化する見通しである。

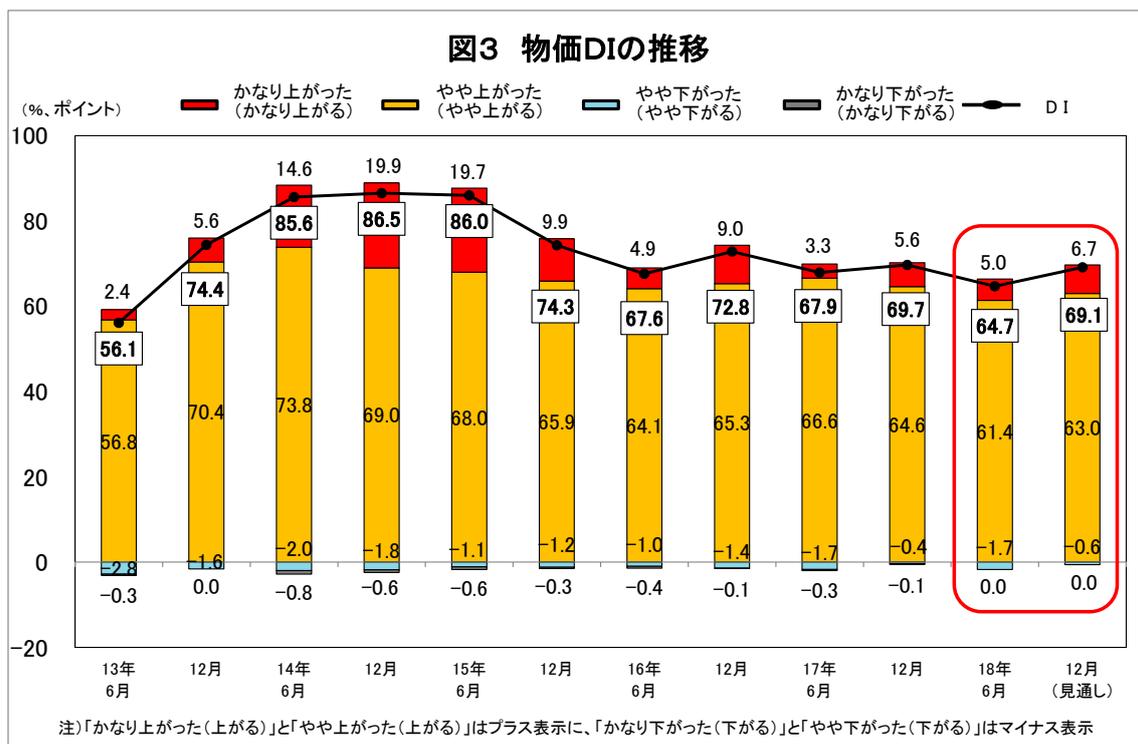
しかし、半年後の見通しはかなり厳しく判断される傾向にあり、特にここ1年の調査では見通しより10ポイント以上プラスとなる結果が出ている（17年6月時点での半年後の見通し[-13.1]に対し17年12月の結果[-1.6]、17年12月時点での半年後の見通し[-16.9]に対し18年6月の結果[-6.7]）ため、現時点での見通しほど悪化しない可能性がある。



(3) 【物価DI】…やや低下し、3期連続で+70を下回る

現在の「物価DI」（「かなり上がった」「やや上がった」と回答した割合から「かなり下がった」「やや下がった」と回答した割合を引いた値）は+64.7となった。前回（17年12月：+69.7）から5.0ポイント低下し、3期連続で+70を下回った。14年6月から15年6月にかけて+80を上回った時期に比べると近年はやや和らいでいるものの、依然として物価上昇への意識は根強い。

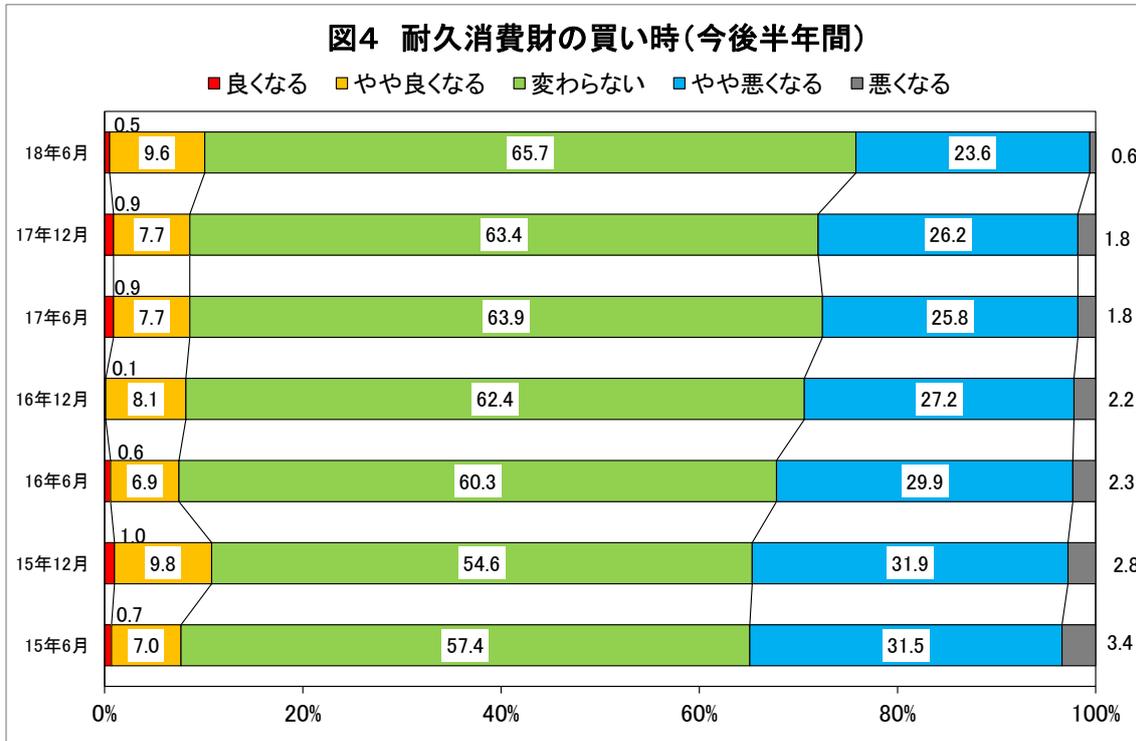
半年後の「物価DI」は+69.1で、今回から+4.4ポイントとやや上昇するものの、引き続き+70は下回る見通し。



(4) 【耐久消費財の買い時】… “(やや)良くなる” 2年半ぶりに1割を超える

「耐久消費財の買い時として、今と比べて今後半年間でどうなると思うか」については、「良くなる」「やや良くなる」の合計は10.1%で、前回(17年12月:8.6%)から+1.5ポイントと、5期(2年半)ぶりに1割を超えた。

また、「悪くなる」「やや悪くなる」の合計は24.2%で、前回(28.0%)から3.8ポイント減少し、2009年6月の調査開始以来、最も少なくなった。「変わらない」は65.7%で、前回(63.4%)から2.3ポイント増加し、調査開始以来最も多くなった。

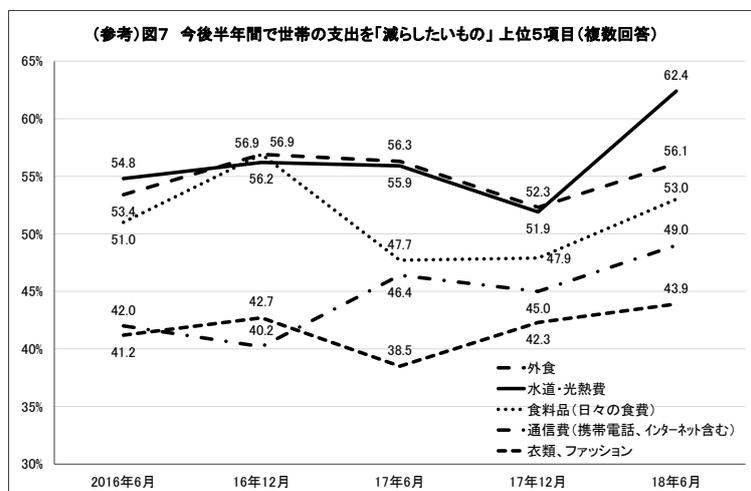
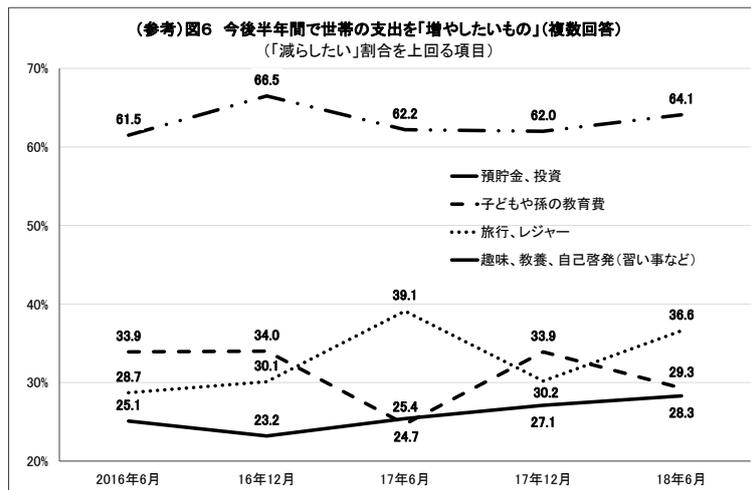
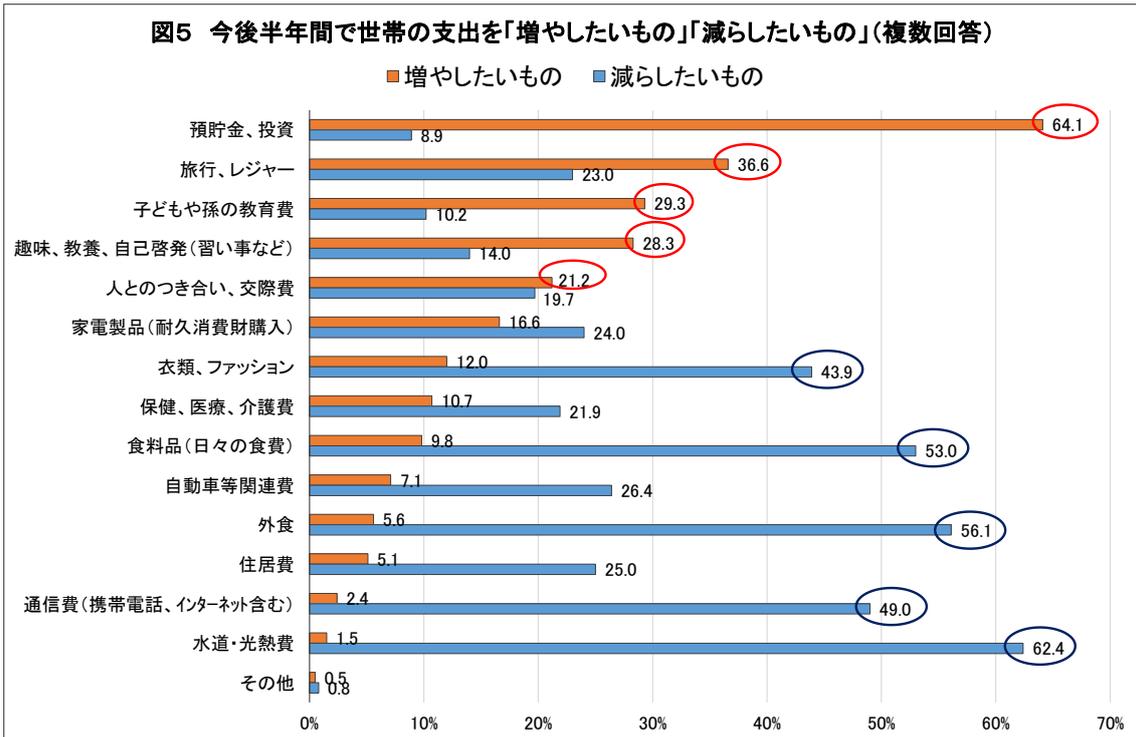
**(5) 【世帯の消費行動】…増やしたい「預貯金、投資」6割で根強く、減らしたい「水道・光熱費」が大幅増加**

今後半年間の世帯の支出について、支出を「増やしたいもの」「減らしたいもの」をたずねた(複数回答)。

「増やしたいもの」では、「預貯金、投資」(64.1%)が最も高く、次いで「旅行、レジャー」(36.6%)、「子どもや孫の教育費」(29.3%)、「趣味、教養、自己啓発費(習い事など)」(28.3%)、「人とのつき合い、交際費」(21.2%)と続いた。この5項目は“減らしたい”とする割合よりも“増やしたい”とする割合が高くなった。

一方、「減らしたいもの」では、「水道・光熱費」(62.4%)が最も多く、前回(51.9%)から+10.5%と大きく増加し、初めて6割を超えた。次いで「外食」(56.1%)、「食料品(日々の食費)」(53.0%)が5割を超え、「通信費」(49.0%)、「衣類、ファッション」(43.9%)で4割を超えた。日常の生活費から非日常的な外食費まで、節約意識は幅広い項目にわたっている。

本設問を設定した16年6月からの傾向をみると、「増やしたいもの」では「預貯金、投資」が一貫して6割を超えた。暮らし向きや世帯収入への厳しい意識を反映して、貯蓄・投資志向は引き続き強い。「減らしたいもの」では、回答が4割以上となった上位5項目すべてで増加した。特に、「水道・光熱費」は前回(51.9%)から+10.5ポイントと大幅に増加したものの、今夏の記録的な暑さの中では節約行動も限られると思われる。



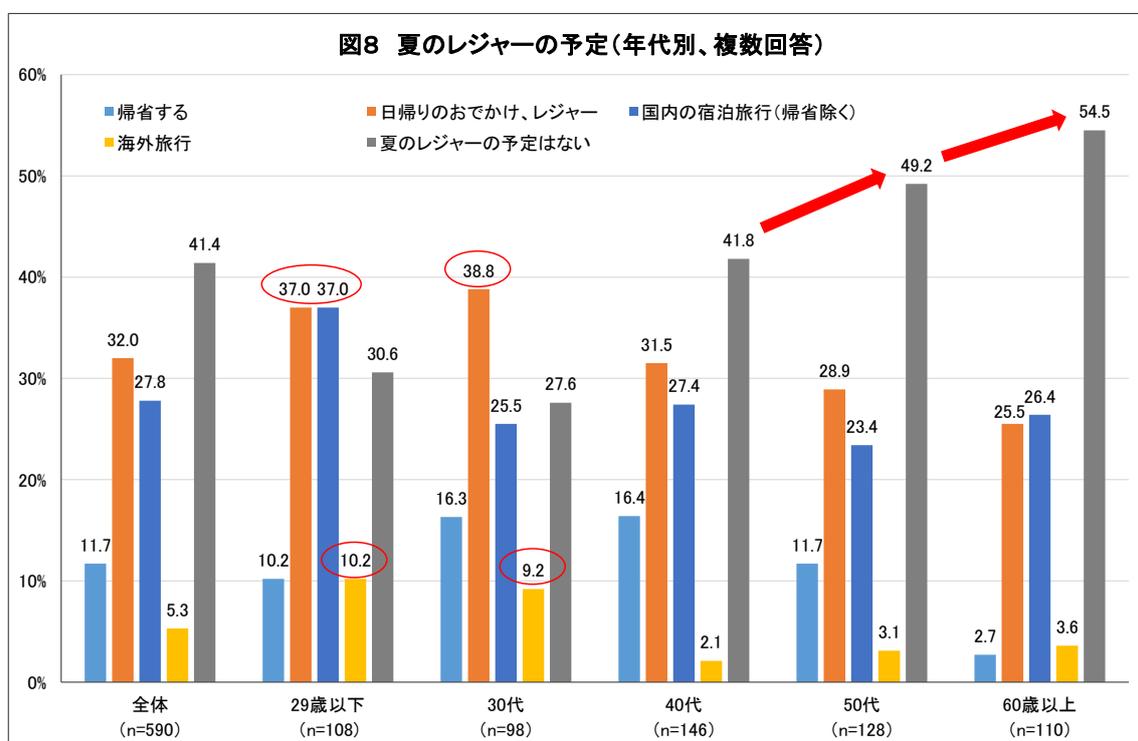
2. 特別項目：夏のレジャーについて

※回答者の「世帯」の夏のレジャーについて質問した。

(1) 4割が「夏のレジャーの予定はない」も、約3割が「日帰りのおでかけ、レジャー」「国内宿泊旅行」を予定。若い世代ほどレジャー意欲高い。

回答者の世帯について今夏のレジャーはどのように過ごすかたずねたところ、「夏のレジャーの予定はない」(41.4%)が最も多く4割を占めた。次いで「日帰りのおでかけ、レジャー」(32.0%)、「国内の宿泊旅行(帰省除く)」(27.8%)、「帰省する」(11.7%)と続いた。「海外旅行」は5.3%であった。

回答者の年代別にみると、「29歳以下」は「日帰り」「国内宿泊旅行」(ともに37.0%)が高く、「30代」は「日帰りのおでかけ、レジャー」(38.8%)が飛び抜けて高くなった。また「29歳以下」「30代」は「海外旅行」が1割前後になるなど、他の世代に比べてレジャーへの意欲が高い。また、年代が上がるごとに「予定はない」の割合が増加し、「60歳以上」(54.5%)では5割を超えた。



(2) 「日帰りのおでかけ、レジャー」の行き先は「近畿」が6割。目的は「テーマパーク」「観光地、名所」「野外イベント、祭り、花火」

レジャーの種類別に[行き先]と[目的]をたずねた。

「日帰りのおでかけ、レジャー」の行き先は、1位が「近畿(滋賀県内除く)」(60.6%)で6割を占め、次いで「滋賀県内」(31.0%)、「中部(静岡・愛知・岐阜・三重)」(15.5%)となった。

レジャーの目的は、全体では1位が「観光地、名所」(30.6%)、次いで「海(湖)水浴、プール」(21.5%)であったが、行き先別でみると、「近畿(滋賀県内除く)」は「テーマパーク」(27.6%)が最も高く、次いで「観光地、名所」(26.4%)、「野外イベント、祭り、花火」(25.3%)となった。「滋賀県内」は「バーベキュー、釣り」(41.9%)が最も高く、次いで「野外イベント、祭り、花火」(37.2%)、「観光地、名所」「海(湖)水浴、プール」(ともに27.9%)。「中部」は「観光地、名所」(37.5%)、「海(湖)水浴、プール」(33.3%)、「バーベキュー、釣り」(29.2%)となった。

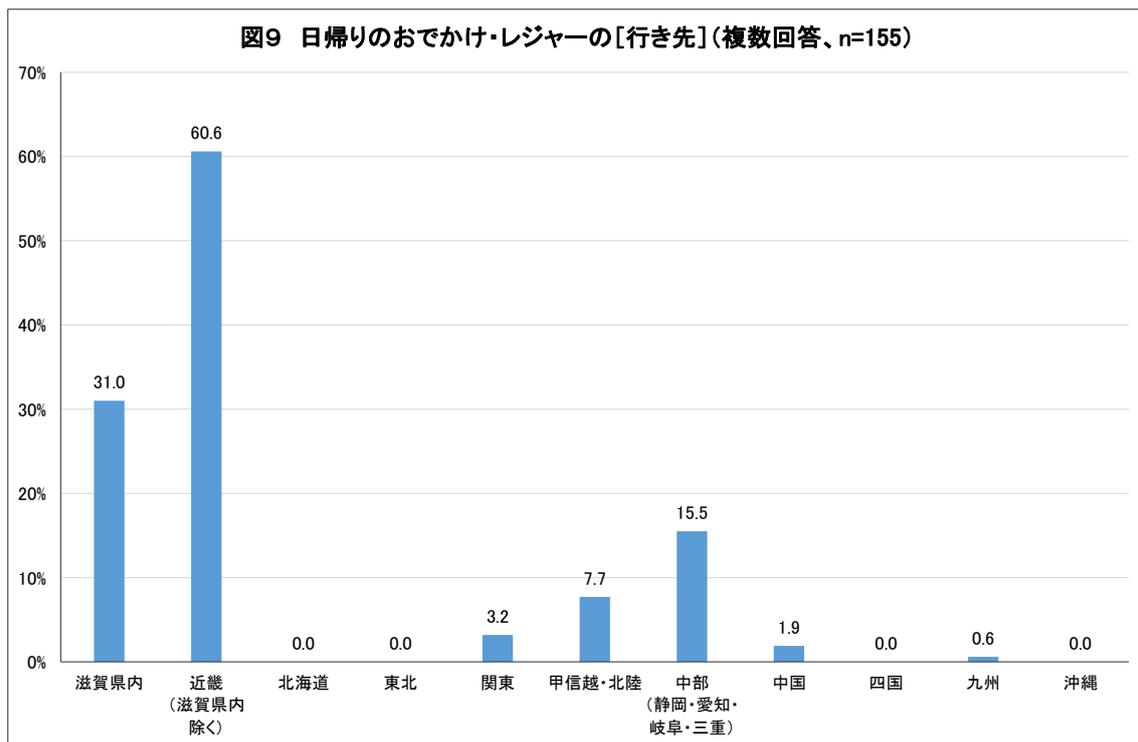


表1 [日帰り] 行き先ごとのレジャーの目的 (複数回答、単位%)

	全体 (n=144)	滋賀県内 (n=43)	近畿 (滋賀県内除く) (n=87)	中部 (静岡・愛知・岐阜・三重) (n=24)
観光地、名所	①30.6	③27.9	②26.4	①37.5
ドライブ、ツーリング	8.3	7.0	10.3	20.8
登山、ハイキング	-	-	-	-
キャンプ	6.3	14.0	6.9	4.2
バーベキュー、釣り	18.8	①41.9	16.1	③29.2
海(湖)水浴、プール	②21.5	③27.9	14.9	②33.3
ウォーターアクティビティ (カヌー、サーフィン、ダイビング等)	0.7	2.3	-	-
野外イベント、祭り、花火	19.4	②37.2	③25.3	25.0
テーマパーク (遊園地、動物園、水族館など)	③20.8	14.0	①27.6	25.0
温泉、スパリゾート	11.1	11.6	11.5	16.7
道の駅や市場	6.3	4.7	6.9	4.2
ショッピング	12.5	20.9	17.2	25.0
グルメ(訪問先での食体験)	10.4	14.0	10.3	16.7
映画、コンサート、観劇	13.2	18.6	16.1	8.3
美術館、博物館	3.5	-	3.4	4.2
その他	3.5	-	2.3	8.3

(3) 「国内の宿泊旅行」の行き先は「関東」「近畿」が2割。目的は「テーマパーク」「観光地、名所」

「国内の宿泊旅行」の行き先は、1位が「関東」(23.9%)となり、次いで「近畿(滋賀県内除く)」(21.6%)、「甲信越・北陸」(17.9%)となった。

レジャーの目的は、全体では、1位「観光地、名所」(48.4%)、「テーマパーク」(24.2%)であったが、行き先別でみると、「関東」は「テーマパーク」(64.5%)が最も高く、次いで「観光地、名所」(38.7%)となった。「近畿(滋賀県内除く)」は「観光地、名所」(48.1%)、「温泉、スパリゾート」(37.0%)、「甲信越・北陸」は「観光地、名所」(47.6%)、「温泉、スパリゾート」(23.8%)となった。

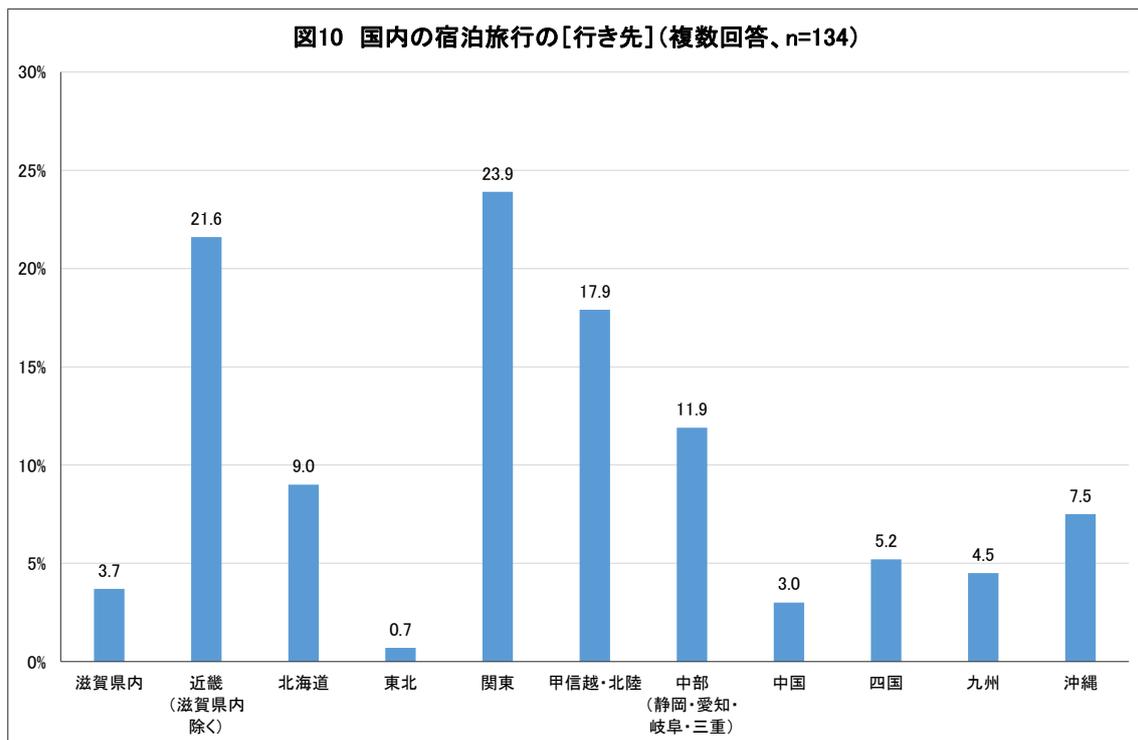


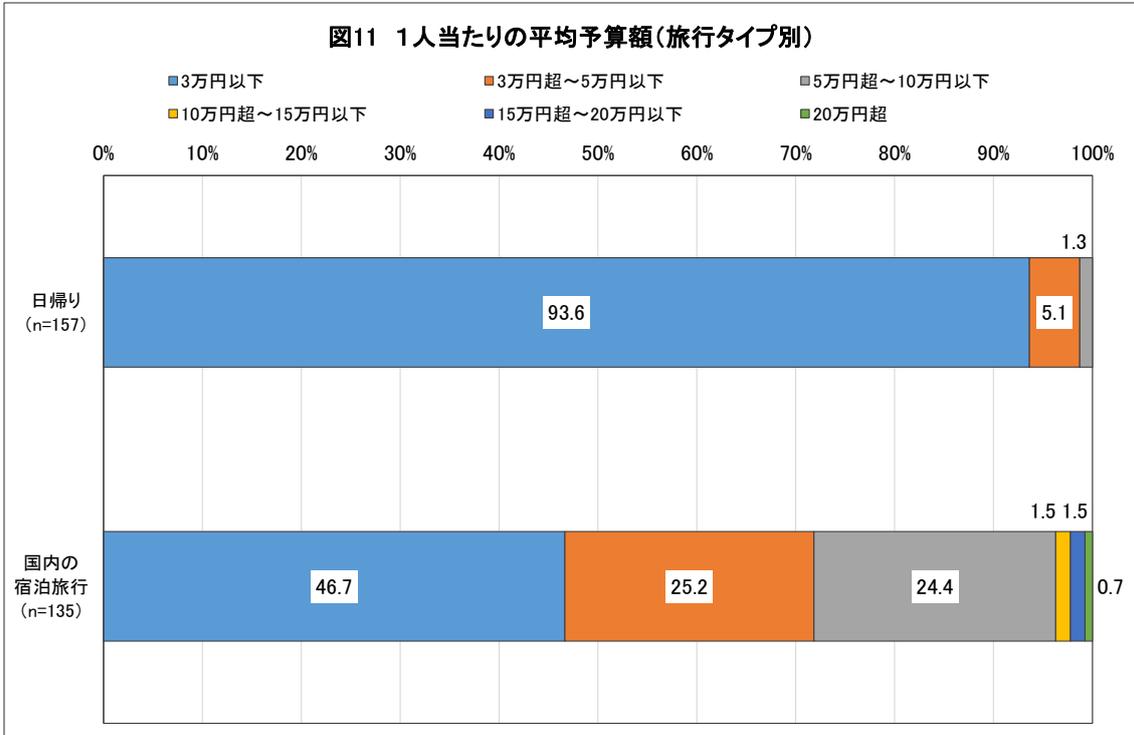
表2 「国内の宿泊旅行」行き先ごとのレジャーの目的(複数回答、単位%)

	全体 n=124	近畿 (滋賀県内除く) (n=27)	関東 (n=31)	甲信越・北陸 (n=21)
観光地、名所	①48.4	①48.1	②38.7	①47.6
ドライブ、ツーリング	2.4	-	-	4.8
登山、ハイキング	4.0	-	-	19.0
キャンプ	8.1	14.8	-	14.3
バーベキュー、釣り	1.6	-	-	4.8
海(湖)水浴、プール	9.7	11.1	-	19.0
ウォーターアクティビティ (カヌー、サーフィン、ダイビング等)	3.2	-	-	4.8
野外イベント、祭り、花火	0.8	-	-	-
テーマパーク (遊園地、動物園、水族館など)	②24.2	18.5	①64.5	4.8
温泉、スパリゾート	19.4	②37.0	3.2	②23.8
道の駅や市場	2.4	-	-	4.8
ショッピング	2.4	3.7	9.7	-
グルメ(訪問先での食体験)	7.3	-	3.2	9.5
映画、コンサート、観劇	2.4	-	6.5	4.8
美術館、博物館	2.4	-	3.2	4.8
その他	6.5	3.7	6.5	4.8

(4) レジャーの平均予算は「日帰り」13,717円、「国内の宿泊旅行」49,185円

夏のレジャーの予算をたずねたところ、1人当たりの平均額は「日帰りのレジャー、おでかけ」が13,717円、「国内の宿泊旅行」が49,185円となった。

「日帰りのレジャー、おでかけ」では「3万円以下」(93.6%)が9割を占め、「国内の宿泊旅行」では「3万円以下」(46.7%)が5割弱、次いで「3万円超～5万円以下」(25.2%)と「5万円超～10万円以下」(24.4%)が2割強となった。



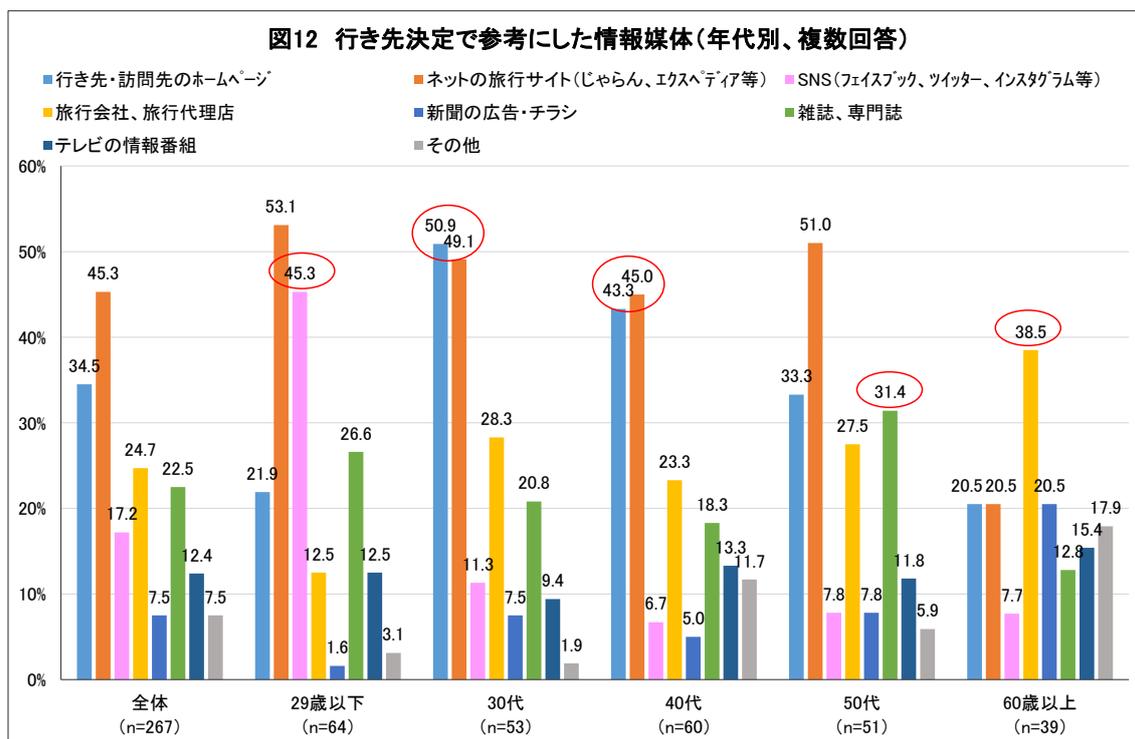
**(5) 行き先決定のための情報媒体は「ネットの旅行サイト」「行き先・訪問先のホームページ」。
29歳以下はSNS中心。**

夏のレジャーの行き先を決定する際に参考にした情報媒体をたずねたところ、全体では「ネットの旅行サイト（じゃらん、エキスペディア等）」（45.3%）が最も高く、次いで「行き先・訪問先のホームページ」（34.5%）、「旅行会社、旅行代理店」（24.7%）となった。

年代別でみると、「29歳以下」は「SNS」（45.3%）の利用が他世代に比べて圧倒的に高く、「ネットの旅行サイト」（53.1%）とともに情報収集はネット中心が鮮明だ。

「30代」「40代」は「行き先・訪問先のホームページ」「ネットの旅行サイト」が4～5割と飛び抜けて高く、両者を併用しつつ「旅行会社、旅行代理店」にも行くというスタイル。「50代」は「ネットの旅行サイト」が5割を占めるとともに、「雑誌、専門誌」の利用が唯一3割を超えて高くなった。

「60歳以上」のみ「旅行会社、旅行代理店」が最も高くなり4割近くを占めた。他世代に比べてネット利用は半分以下と少ない。



以上

本調査結果に関するお問い合わせ先：(株)しがぎん経済文化センター
産業・市場調査部 長山 (TEL 077-523-2245)